第26回　SEA教育事例研究会2024

－AI 時代の教育設計と学生支援－

主催：ソフトウェア技術者協会（SEA）教育分科会(sigedu)

1.　開催概要

教育分科会では、毎年初夏の時期に教育の実践報告や最新教育工学の情報交換などを中心とした研究会を開催しています。

今年も、人材育成やパフォーマンス向上について新しい取り組みを実践されている方、教育工学に基づき教育の最新技術を研究されている方、ユニークな教育展開をされている方、また担当の教育に問題を抱えて悩んでおられる方が集まり、さまざまな実践事例や改善方策について集中討論会を行いました。昨年同様今回もハイブリッド開催とし、会場参加だけでなくオンライン参加もありました。

テーマを「AI 時代」としていることもあって、末尾の井ノ上実行委員長のメッセージを AI に添削してもらいました。両方記載しておきます。違いをお楽しみください。

2.　日程

2024年7月24日（水）13：00－　17：45

3.　会 場

大阪大学吹田キャンパス

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top

4.　参加者一覧

【会場参加者】

井ノ上憲司　大阪大学スチューデント・ライフサイクル・サポートセンター

鈴木克明　武蔵野大学響学開発センター、熊本大学名誉教授

松村佳世　ミマモルメ ／ 大阪大学人間科学研究科 博士前期課程

米島博司　パフォーマンス・インプルーブメント・アソシエイツ

牧野憲一　プラスワン・アシスト

【オンライン参加者】

君島浩　教育設計研究所

平野正喜　ランドッグ・オーグ平野正喜事務所

5.　プログラム

13:00 オープニング開会宣言 実行委員長 井ノ上憲司

13:05 自己紹介 参加者全員

13:20「君島浩のニュースそうだったのか」 君島浩【Online】

ニュースや歴史などの本質的要点／人知や生成 AI が本質を要約する技

14:00 高度な創造力・自律性育成のために生成 AI に何を期待するか 米島博司

14:40 AI 時代の大学入試の考察 井ノ上憲司

15:40（休憩）

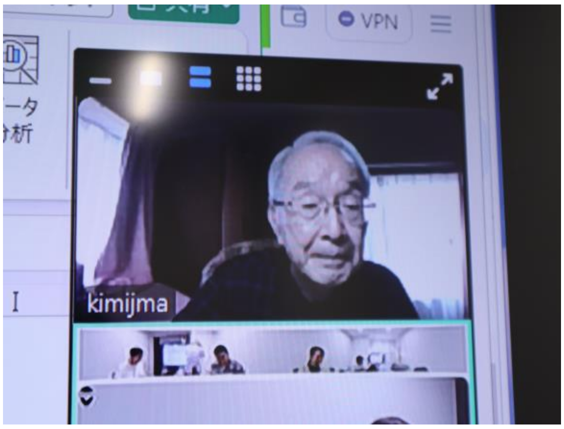
15:50 ロボットを通じた学びの場 松村佳世

16:50 ID 最前線 鈴木克明

17:30 SEA 活動紹介 牧野憲一

17:45 解散

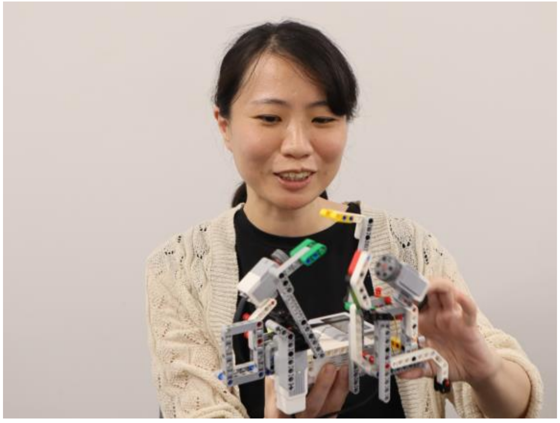
6.　研究会風景写真



君島浩さん（オンライン発表）

米島博司さん

井ノ上憲司先生



松村佳世さん

鈴木克明先生

会場風景

7.　実行委員コメント

【実行委員長　井ノ上憲司】＜原文と AI の添削文＞

まずは、当日はお暑い中、ご参加いただきましてありがとうございます。

初参加の松村さんには、急なお願いにもかかわらず快くご発表いただき有り難い限りです。君島さん、米島さん、鈴木先生の発表も今後の研究や教育設計などで役立つポイントがあり、大変参考になりました。牧野さん、平野さんもお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。志摩さんは、やまれぬ事情でキャンセルとなりましたが、次回もお待ちしております。ご案内が遅くなったところにお申し込みいただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

私は、本年度から SEA 正会員になり、この教育事例研究会も初参加という立場で、実行委員長を拝命いたしました。そんな中でなんとか務められたのは、米島さんと牧野さんのサポートのお陰です。この場を借りてお礼申し上げます。

今後も経験を積み、SEA と教育分科会(SIG-EDU)を盛り上げていけたらと思っております。誠にありがとうございました。

上の文章を AI が修正した結果：

皆様、当日はお暑い中ご参加いただき、誠にありがとうございました。 初参加の松村さんには、急なお願いにもかかわらずご発表いただき、感謝申し上げます。君島さん、米島さん、鈴木先生の発表は、本年度の研究テーマである AI や教育実践事例として大変参考になりました。牧野さん、平野さんもお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。志摩さんは、やむを得ない事情でキャンセルとなりましたが、次回のご参加をお待ちしております。

初参加という立場ながら、米島さんと牧野さんの温かいサポートのおかげで、実行委員長として務めを果たすことができました。今後も経験を積み重ね、SEA と教育分科会(SIG-EDU)の活性化に貢献していきたいと考えております。皆様のご参加に心より感謝申し上げます。

【実行委員　米島博司】

毎年初夏に開催する恒例の SEA 教育事例研究会も今回で 26 回を迎えます。古くは 8 月に関西支部や名古屋支部とのジョイントフォーラムを開催していましたが、現在はこちらが恒例行事となっています。

新たに世話人に就任していただいた井ノ上先生に実行委員長をお願いし、大阪大学での開催となりました。構内に公共交通のバスが乗り入れる広い吹田キャンパスは、恵まれた学習環境だと感心しました。

今回は参加者も少人数となりましたが、井ノ上先生のお誘いにより、画期的な事例をご紹介いただいた松村さんのレゴロボットを使ったプログラミング教室（塾）は、様々な課題を抱えながらも、子供達が夢中になって取り組む姿が垣間見ることができ、学習の本質である学ぶことが楽しいという重要な視点をあらためて確認できました。

井ノ上先生の入試の一部である志望理由を AI を活用することにより、効率的な合否判定の支援にできないかという取り組みも、入試をめぐる多くの課題の存在を認識して、初等教育から高等教育までの壁、また学校と社会の壁をいかにオープンにするかを考えるきっかけになりました。秋のワークショップに向けてまた思考をめぐらせたいと思います。井ノ上先生、実行委員長としてのご足労と、会場を提供していただき誠にありがとうございました。

【実行委員　牧野憲一】

昨年の京都開催に続き、今年度も大阪開催ということで参加させていただきました。会場となった大阪大学吹田キャンパスを訪問したのは初めてです。広い、綺麗、落ち着いていると、勉学に適した環境、本当に素晴らしい大学だと実感しました。

井ノ上先生の発表は、とある大学の入学試験の一部に生成 AI を試行している事例でした。詳細は省略しますが、生成 AI を如何に駆使して求めたい結果に近づけるか、更なる試行が楽しみです。差し支えない範囲で結構ですから、秋のワークショップでの発表も期待しております。

松村さんの発表は小学生を対象にしたレゴロボット塾の事例でした。小学校の授業でもプログラミングが取り入れられたことで小学生の興味が高まっており、時代にマッチした塾と感じました。私の持論である「設計なくして家建たず」「設計の奨め」、ソフトウェア開発における設計重視は変わりませんが、小学生に求める気は有りません。プログラムの変更が目に見えるのはわかりやすくて楽しいですね。社会の課題をロボットにより解決する構想は壮大、先生に負担がかかるのは予想できますが、頑張って導いていただきたいと思います。

井ノ上先生、実行委員長の重責、大変お疲れ様でした。素敵な会場で興味深く議論できたことに感謝申し上げます。教育分科会での益々のご活躍に期待しております。

以上